

2019年度「歯科保健関係者研修会」実施要領

1. 目的： 県民歯と口の健康プラン推進のため、歯科保健事業や歯科保健活動に従事する指導者や職員の歯科保健に関する正しい理解を深める。
2. 主催： 富山県 ・ 富山県歯科医師会
3. 後援： 富山県教育委員会 ・ 富山県学校保健会
4. 日時： 2019年8月22日（木）PM1：30～4：00
5. 場所： 富山県歯科医師会館 （富山市五福字五味原 2741-2）
6. 対象者： 歯科医師、歯科衛生士、市町村・厚生センター職員（保健師、栄養士）
養護教諭、その他地域歯科保健活動に従事している者
7. 研修：
【テーマ】 理解したい成長期口腔の機能的・形態的变化
—成長期の習慣（咀嚼・呼吸・嚥下）が一生の健康の土台となる—
【講師】 東京歯科大学解剖学講座 教授 阿部 伸一 先生

8. 講演抄録

機能の発達とは、胎生期の咀嚼、授乳の練習からすべてが始まります。そして出生後の授乳、歯の萌出に伴う離乳など、歯の萌出の推移と機能の発達は大きく関係しています。乳歯列には、6歳になると「6歳臼歯」と呼ばれる初めての大人の歯：永久歯が萌出し加わり、12歳前後に永久歯列が完成します。この約6年間は永久歯が萌出するというだけでなく、歯の萌出とともに上下の顎が大人の形に近づき、姿勢の一部である「顎位」を決めていくための最も重要な成長の時期です。この時期に正しく「噛む」「飲む」ことを習得することによって、実は正しい姿勢を身につけることにもつながるのです。

哺乳類が母乳を飲むために進化した構造物が、表情筋であり「頬」といえます。この頬の存在によって我々は、人類特有（他の哺乳類もある程度）の咀嚼という機能を獲得しました。咀嚼を広辞苑で調べると「かみくだくこと。かみくだいてあじわうこと」「物事や文章などの意味をよく考えて味わうこと」とあります。我々は咀嚼機能を担う「頬」と、協調して動く「舌」のおかげでおいしく食事ができるようになりました。そしてこの咀嚼の場は、呼吸や発音を担う場でもあります。

本講演では、成長期に獲得したい正しい咀嚼・呼吸・嚥下機能について、機能解剖学的検知から解説を行います。今回の内容について、ご自分の理解だけでなく、ぜひ多くの一般の方に説明できるようになっていただきたいと思います。

9. 略歴

1983年 芝高等学校卒業

1989年 東京歯科大学卒業

1993年 東京歯科大学大学院終了(歯学博士)

1994年 ドイツベルリン自由大学留学

2010年 東京歯科大学解剖学講座教授(現在)

非常勤講師など

日本大学歯学部、九州大学歯学部、九州歯科大学、千葉大学医学部、延世大学歯学部(韓国)、台北医学大学口腔医学院(台湾) 他

2019年度「歯科保健関係者研修会」受講申込書

勤務先名

勤務先住所

職 種	ふりがな 氏 名
計	名

○申込み先

〒930-0887 富山市五福五味原2741-2

一般社団法人 富山県歯科医師会

【TEL】 076-432-4466

【FAX】 076-442-4013

【Eメール】 post@tda8020.com

○申込み締切

令和元年8月9日（金）まで